

2018年新春の御挨拶



一般財団法人日本建築総合試験所
理事長 井上 一郎

2018年の年頭にあたって、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。併せて、皆様方には平素より当法人の諸事業に対して御高配を賜っておりますことを深く感謝いたします。

当法人は、公益性を有する技術サービスが本務であり、「愚直に、迅速に、決め事を正確に行う」という基本姿勢を堅持し、第三者機関としての役割を誠実に果たしていくことが当法人の存在意義であると役職員ともども肝に銘じております。そのためには、人材の育成、設備の刷新、経費削減に恒常的に取り組んでいく必要があります。

一昨年にスタートしました耐火棟の移転・設備更新も順調に進んでおり、既に壁炉はフル稼働状態にあります。今年は最終第三期の水平炉と柱炉の新設が完了し、評価業務と連携したワンストップのサービスが提供可能となります。他の業務分野に関しましても、クラウド化、文書の電子化を推進し、テレビ会議など遠隔地対応にも注力して、さらに利便性の向上を図っていく所存です。

今年も試験・確認・評定・認証・判定・研修の各分野で皆様方の御付託に応えるよう役職員一同最善の努力をしてまいります。御支援・御鞭撻のほど、重ねてお願い申し上げます。